

令和2年度使用教科用図書（小学校）
総合所見

令和元年8月21日（水）

呉市教科用図書（小学校）選定委員会

種目名〔国語〕 総合的な所見一覧

	基本	学習	学図	教出	光付
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、目標が示されている。「読むこと」の領域では、教材文の前に単元の導入ページがあり、目標と具体的なあめあてが示されている。 語彙を豊かにすることを目的に、各学年の「言葉の広場」で語句が豊富に掲載されている。語句のまとまりに見出しが示されている。 具体例を挙げ、実際に調べる活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、目標が示されている。 語彙を豊かにすることを目的に、各学年の「言葉の部屋」で語句が掲載されている。語句のまとまりに見出しが示されていない。 具体例を挙げ、実際に調べる活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭と各単元の冒頭に、目標が示されている。「読むこと」の領域では、教材文の前に単元の導入ページがあり、目標が示されている。 語彙を豊かにすることを目的に、各学年の「言葉の木」に語句が掲載されている。語句のまとまりに見出しが示されている。 具体例を挙げ、実際に調べる活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、目標が示されている。「読むこと」の領域では、教材文の前に単元の導入ページがあり、目標と具体的なあめあてが示されている。 語彙を豊かにすることを目的に、各学年の「言葉の宝箱」に語句が豊富に掲載されている。語句のまとまりに見出しが示されている。 具体例を挙げ、実際に調べる活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、目標が示されている。「読むこと」の領域では、教材文の前に単元の導入ページがあり、目標と具体的なあめあてが示されている。 語彙を豊かにすることを目的に、各学年の「言葉の宝箱」に語句が豊富に掲載されている。語句のまとまりに見出しが示されている。 具体例を挙げ、実際に調べる活動が設定されている。
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、実生活や他教科等と関連付けた題材やテーマが扱われている。 単元の導入ページに示されている目標の達成と具体的なあめあての解決に向け、学習の流れが分かりやすく示されている。学習の見通しをもてるよう工夫がされている。 目標の達成に向け、学習過程が段階的に適切に設定されている。書くための手立てが、丁寧に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、実生活や他教科等と関連付けた題材やテーマが扱われている。 学習の流れは示されているが、課題解決的な学習過程が示されていない。 目標の達成に向け、学習過程が段階的に適切に設定されている。書くための手立てが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、実生活や他教科等と関連付けた題材やテーマが扱われている。 学習の流れは示されているが、目標の達成に向けての流れが見えにくい。 目標の達成に向け、学習過程が段階的に適切に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、実生活や他教科等と関連付けた題材やテーマが扱われている。 単元の導入ページに示されている目標の達成と具体的なあめあての解決に向け、学習の流れが分かりやすく示されている。学習の見通しをもてるよう工夫がされている。 目標の達成に向け、学習過程が段階的に適切に設定されている。書くための手立てが、丁寧に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、実生活や他教科等と関連付けた題材やテーマが扱われている。 単元の導入ページに示されている目標の達成と具体的なあめあての解決に向け、学習の流れが分かりやすく示されている。学習の見通しをもてるよう工夫がされている。 目標の達成に向け、学習過程が段階的に適切に設定されている。書くための手立てが、丁寧に示されている。
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 3領域と知識・技能に係る各単元の分量が適切である。領域を有機的に関連させて複合単元を設定している学年がある。 伝統的な言語文化に関する単元では、学習指導要領に対応した教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3領域と知識・技能に係る各単元の分量が適切である。領域を有機的に関連させて複合単元を設定している学年がある。 伝統的な言語文化に関する単元では、学習指導要領に対応した教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3領域と知識・技能に係る各単元の分量が適切である。複数の領域を組み合わせ展開することのできる単元を配列している学年がある。 伝統的な言語文化に関する単元では、学習指導要領に対応した教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3領域と知識・技能に係る各単元の分量が適切である。複数の領域を組み合わせ展開することのできる単元を配列している学年がある。 伝統的な言語文化に関する単元では、学習指導要領に対応した教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3領域と知識・技能に係る各単元の分量が適切である。複数の領域を組み合わせ展開することのできる単元を配列している学年がある。 伝統的な言語文化に関する単元では、学習指導要領に対応した教材が取り上げられている。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年以上で、図表等を資料として位置付けている説明的な文章が取り上げられている。手引きにおいて、文章と図表等との関連について様々な視点で考えさせる工夫がある。 第2学年以上の巻頭に、各単元で付けた力と学習過程（学習の進め方）が示されている。前学年の学習の振り返りも示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年以上の巻頭に、前学年の学習の振り返り、付けた力、学習過程（学習の進め方）が示されている。「学ぶこと」の単元のみ、最初のページに示されている。前学年の学習の振り返りはない。 第3学年以上の巻頭に、各単元で付けた力と学習過程（学習の進め方）が示されている。手引きにおいて、文章と図表等との関連について様々な視点で考えさせる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 第3、5学年で、図表等を資料として位置付けている説明的な文章が取り上げられている。手引きにおいて、文章と図表等との関連について様々な視点で示されている。 全学年の巻頭に、付けた力、前学年の学習の振り返り、付けた力、学習過程（学習の進め方）が示されている。「書くこと」の単元のみ、最初のページに示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4学年以上で、図表等を資料として位置付けている説明的な文章が取り上げられている。手引きにおいて、文章と図表等との関連について考えさせる視点で示されている。 第2学年以上の巻頭に、各単元で付けた力、学習過程（学習の進め方）、前学年の振り返りが示されている。学習用語も示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4学年以上で、図表等を資料として位置付けている説明的な文章が取り上げられている。手引きにおいて、文章と図表等との関連について考えさせる視点で示されている。 第2学年以上の巻頭に、各単元で付けた力、学習過程（学習の進め方）、前学年の振り返りが示されている。学習用語も示されている。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのテーマや議題は、生活や社会に関連するものが取り上げられ、グループでの話し合いが主に扱われている。全学年で、話し合いの具体例が示され、発言の意図や参加者の役割について丁寧に説明されている。 全学年で、学校図書館や地域の図書館等の利用の仕方やその機能を活用した学習が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのテーマや議題は、生活や社会に関連するものが取り上げられ、学級全体での話し合いが主に扱われている。全学年で、話し合いの具体例が示され、発言の意図や参加者の役割について説明されている学年もある。 全学年で、学校図書館や地域の図書館等の利用の仕方やその機能を活用した学習が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのテーマや議題は、生活や社会に関連するものが取り上げられ、様々な形態の話し合いが扱われている。全学年で、話し合いの具体例が示され、発言の意図や参加者の役割についても説明されている。 第1～第4学年で、学校図書館や地域の図書館等の利用の仕方やその機能を活用した学習が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのテーマや議題は、生活や社会に関連するものが取り上げられ、グループでの話し合いが主に扱われている。全学年で、発言の意図や参加者の役割について丁寧に説明されている。話し合いの具体例は、第3、4学年で示されている。 全学年で、学校図書館や地域の図書館等の利用の仕方やその機能を活用した学習が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのテーマや議題は、生活や社会に関連するものが取り上げられ、グループでの話し合いが主に扱われている。全学年で、発言の意図や参加者の役割について丁寧に説明されている。話し合いの具体例は、第3、4学年で示されている。 全学年で、学校図書館や地域の図書館等の利用の仕方やその機能を活用した学習が取り上げられている。

種目名〔書写〕 総合的な所見一覧

	書写	算数	国語	社会	理科	外国語	総合
観点1 基礎・基本の 定着	<p>・全学年に、「字配り・配列」に関する基本単元が位置付けられている。</p> <p>・単元の目標に加え、目標の達成に向けて児童自ら考える視点が示されている。</p> <p>・「字を書く姿勢」「手の置き方」「用具の扱い方」等が、写真とイラストで丁寧に示されている。初めて毛筆を学習する第3学年では、「用具の扱い方」の示す場合の用具の置き方も示されている。</p>	<p>・全学年に、「字配り・配列」に関する基本単元が位置付けられている。</p> <p>・単元の目標は示されているが、目標の達成に向けて手立てとなる視点は示されていない。</p> <p>・「字を書く姿勢」「手の置き方」「用具の扱い方」等が、写真とイラストで示されている。初めて毛筆を学習する第3学年では、「用具の扱い方」の示し方が丁寧である。</p>	<p>・第3、4学年に、「字配り・配列」に関する基本単元がない。</p> <p>・単元の目標は示されているが、目標の達成に向けて手立てとなる視点は示されていない。</p> <p>・「字を書く姿勢」「手の置き方」「用具の扱い方」等が、写真とイラストで示されているが、「字を書く姿勢」に関するページが少ない。</p>	<p>・全学年に、「字配り・配列」に関する基本単元が位置付けられている。</p> <p>・単元の目標は示されているが、目標の達成に向けて手立てとなる視点は示されていない。</p> <p>・「字を書く姿勢」「手の置き方」「用具の扱い方」等が、写真とイラストで示されている。</p>	<p>・全学年に、「字配り・配列」に関する基本単元が位置付けられている。</p> <p>・単元の目標は示されているが、目標の達成に向けて手立てとなる視点は示されていない。</p> <p>・「字を書く姿勢」「手の置き方」「用具の扱い方」等が、写真とイラストで示されている。</p>	<p>・全学年に、「字配り・配列」に関する基本単元が位置付けられている。</p> <p>・単元の目標は示されているが、目標の達成に向けて手立てとなる視点は示されていない。</p> <p>・「字を書く姿勢」「手の置き方」「用具の扱い方」等が、写真とイラストで示されている。</p>	<p>・全学年に、「字配り・配列」に関する基本単元が位置付けられている。</p> <p>・単元の目標は示されているが、目標の達成に向けて手立てとなる視点は示されていない。</p> <p>・「字を書く姿勢」「手の置き方」「用具の扱い方」等が、写真とイラストで示されている。</p>
観点2 主体的に学習 に取り組む 工夫	<p>・課題発見・解決の過程に基づいて、学習過程が示されている。</p> <p>・「書きのながさ」を見つけた上で、学習を進め、その後、学習内容を生かしたり話し合ったり広げたりすることができよう、構成に工夫が見られる。</p>	<p>・課題発見・解決の過程に基づいて、学習過程が示されている。</p> <p>・学習過程が細分化され、各過程が詳細に示されている。</p>	<p>・課題発見・解決の過程に基づいて、学習過程が示されている。</p> <p>・学習過程が細分化され、各過程が詳細に示されている。</p>	<p>・課題発見・解決の過程に基づいて、学習過程が示されている。</p> <p>・学習過程が詳細に示されている。</p>	<p>・課題発見・解決の過程に基づいて、学習過程が示されている。</p> <p>・学習過程が示されている。</p> <p>・対話的な学びを通して学習が深められるよう、構成が工夫されている。</p>	<p>・課題発見・解決の過程に基づいて、学習過程が示されている。</p> <p>・学習指導要領の伝統的な言語文化に関する教材が、第3学年と第6学年で取り上げられている。</p>	<p>・硬筆教材は全学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。</p> <p>・学習指導要領の伝統的な言語文化に関する教材が、第2学年以上に取り上げられている。</p>
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<p>・硬筆教材は全学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。</p> <p>・学習指導要領の伝統的な言語文化に関する教材が、全学年で取り上げられている。</p>	<p>・硬筆教材は第1、2学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。</p> <p>・学習指導要領の伝統的な言語文化に関する教材が、第3学年以上に取り上げられている。</p>	<p>・硬筆教材は全学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。</p> <p>・学習指導要領の伝統的な言語文化に関する教材が、第2学年以上に取り上げられている。</p>	<p>・硬筆教材は全学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。</p> <p>・学習指導要領の伝統的な言語文化に関する教材が、第2学年以上に取り上げられている。</p>	<p>・硬筆教材は全学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。</p> <p>・学習指導要領の伝統的な言語文化に関する教材が、第3学年と第5学年、第6学年で取り上げられている。</p>	<p>・硬筆教材は全学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。</p> <p>・学習指導要領の伝統的な言語文化に関する教材が、第3学年、第5学年、第6学年で取り上げられている。</p>	<p>・硬筆教材は全学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。</p> <p>・学習指導要領の伝統的な言語文化に関する教材が、第3学年、第5学年、第6学年で取り上げられている。</p>
観点4 内容の表現・ 表記	<p>・筆順を表す数字が文字の色とは異なる色で示されている。さらに、一画目、二画目には、丸囲みをするなどの工夫がされている。</p> <p>・全学年に、書き込み欄が配置されており、毛筆と硬筆との関連的な指導に生かしやすい。</p>	<p>・筆順を表す数字が文字の色とは異なる色で示されている。さらに、一画目、二画目には、丸囲みをするなどの工夫がされている。</p> <p>・全学年に、書き込み欄が配置されており、毛筆と硬筆との関連的な指導に生かしやすい。</p>	<p>・筆順を表す数字が示されている。一画目と二画目の色や筆順を表す数字の色を変え、丸囲みをするなどの工夫がされている。</p> <p>・第3学年以上に書き込み欄が配置され、第1、2学年はなぞり書き欄のみが配置されている。</p>	<p>・筆順を表す数字が示されている。一画目と二画目の色や筆順を表す数字の色を変え、丸囲みをするなどの工夫がされている。</p> <p>・第3学年以上に書き込み欄が配置され、第1、2学年はなぞり書き欄のみが配置されている。</p>	<p>・筆順を表す数字が示されている。一画目と二画目の色や筆順を表す数字の色を変え、丸囲みをするなどの工夫がされている。</p> <p>・第2学年と第6学年に書き込み欄が配置され、他の学年はなぞり書き欄のみが配置されている。</p>	<p>・筆順を表す数字が示されている。一画目と二画目の色や筆順を表す数字の色を変え、丸囲みをするなどの工夫がされている。</p> <p>・第2学年と第6学年に書き込み欄が配置され、他の学年はなぞり書き欄のみが配置されている。</p>	<p>・筆順を表す数字が示されている。一画目と二画目の色や筆順を表す数字の色を変え、丸囲みをするなどの工夫がされている。</p> <p>・第2学年と第6学年に書き込み欄が配置され、他の学年はなぞり書き欄のみが配置されている。</p>
観点5 言語活動の 充実	<p>・学習した内容を美の場に生かす「生活に広げよう」が、基本単元の間に掲載されている。言語活動を設定する際、参考にしやすい。</p>	<p>・学習した内容を生活や教科等の学習に生かす「レッスン・トライ」が、基本単元の間に掲載されている。言語活動を設定する際、参考にしやすい。</p>	<p>・学習した内容を生活や教科等の学習に生かす「レッスン・トライ」が、基本単元の間に掲載されている。言語活動を設定する際、参考にしやすい。</p>	<p>・学習した内容を生活や教科等の学習に生かす「レッスン・トライ」が、基本単元の間に掲載されている。言語活動を設定する際、参考にしやすい。</p>	<p>・学習した内容を生活や教科等の学習に生かす「生活と書写」が「〇年生のまとめ」の後に掲載されている。</p>	<p>・学習した内容を生活や教科等の学習に生かす「生活と書写」が「〇年生のまとめ」の後に掲載されている。</p>	<p>・学習した内容を生活や教科等の学習に生かす「生活と書写」が「〇年生のまとめ」の後に掲載されている。</p>

種目名〔社会〕 総合的な所見一覧

	東 京	神 戸	宮 城
<p>観点1 基礎・基本の定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の前半に学習問題が設定され、1時間ごとの目標も分かりやすく示されている。学習過程が示されており、児童に学習の進め方を意識させやすい。 ・日本の位置や領土や歴史上の人物等についての理解が深まる説明や47都道府県についての理解を定着させる学習方法が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の前半に学習問題が設定され、1時間ごとの目標も分かりやすく示されている。 ・日本の位置や領土や歴史上の人物等についての理解が深まる説明や47都道府県についての理解を定着させる学習方法が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の前半に学習問題が設定され、1時間ごとの目標も分かりやすく示されている。 ・日本の位置や領土や歴史上の人物等についての理解が深まる説明や地図帳の使い方を定着させる説明が掲載されている。
<p>観点2 主体的に学習に取り組む工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、写真やイラスト等を効果的に提示し、児童が自ら進んで考えてみようという意欲を高める工夫が多数ある。 ・第5学年、第6学年において複数ページにわたって広島県を題材とした内容が記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、写真やイラスト等を効果的に提示し、児童が自ら進んで考えてみようという意欲を高める工夫がされている。 ・広島県を取り上げている内容が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、写真やイラスト等を効果的に提示し、児童が自ら進んで考えてみようという意欲を高める工夫が多数ある。 ・第6学年において複数ページにわたって広島県を題材とした内容が記載されている。
<p>観点3 内容の構成・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に沿って単元が構成され、単元ごとの分量もバランスがとれている。 ・大単元ごとに補充的・発展的教材が掲載されている。 ・自然災害に関する学習において、児童が学習しやすい展開でねらいに沿って構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に沿って単元が構成され、単元ごとの分量もバランスがとれている。 ・大単元ごとに補充的・発展的教材が掲載されている。 ・自然災害に関する学習において、ねらいに沿って構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も学習指導要領に沿って単元が構成され、単元ごとの分量もバランスがとれている。 ・大単元ごとに補充的・発展的教材が掲載されている。 ・自然災害に関する学習において、児童が学習しやすい展開でねらいに沿って構成されている。
<p>観点4 内容の表現・表記</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と適切な関連付けがされたグラフ、写真、地図等が豊富に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と適切な関連付けがされたグラフ、写真、地図等が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と適切な関連付けがされたグラフ、写真、地図等が豊富に配置されている。
<p>観点5 言語活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類や具体例及び話し合いや説明の活動を促す工夫や具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた学習活動の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類や具体例及び話し合いや説明の活動を促す工夫や具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた学習活動の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類や具体例及び話し合いや説明の活動を促す工夫や具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた学習活動の参考にしやすい。

種目名【地図】 総合的な所見一覧

	東国	帝国
観点1 基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号、陸の高さ、海の高さ、方位、縮尺等、地図の見方について説明されている。 ・我が国の地理的探検や歴史事象及び国際理解に関する学習への活用に向けて、イラストや写真等が「日本とそのまわり」の地図、資料地図、世界の各地方図等において記載されている。 ・全般にわたって、キャラクターの吹き出しで土地の特徴等について紹介されたり課題が提示されたりしている。 ・「中国地方」の地図の中に、呉市の地名等が掲載されているが、呉市に関する記載が少ない。 ・キャラクターの吹き出しで作業的な学習を促す言葉が提示されたり、地球儀で方位や距離等を調べる方法が掲載されたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方位、地図記号、陸の高さ、土地利用、索引、縮尺等について作業的な活動も取り入れられるなどして詳しく説明されており、地図の見方の基礎・基本の定着が期待できる。 ・我が国の地理的探検や歴史事象及び国際理解に関する学習への活用に向けて、イラストや写真等が「日本とそのまわり」の地図、資料図、世界の各地方図等において記載されている。
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島全体を表す地図、日本の地方図と都市圏図、世界地図、世界各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列されている。 ・統計資料は日本が13項目、世界が5項目掲載されている。 ・資料地図の中に各時代における日本と他国との関わりについて記載されており、日本と世界との関わりを考える学習に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島全体を表す地図、日本の地方図と都市圏図、世界地図、世界各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列されている。 ・統計資料は日本が20項目、世界が5項目掲載されている。 ・統計資料の中に主な農産物の産地や工業生産額の資料が掲載されており、我が国の農業や工業の盛んな地域の学習に活用できる。
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号、方位・縮尺・土地利用・土地の高さの見方、索引の使い方、目的に合わせた見方について、イラストを使って説明してある。また、キャラクターが随所に登場し、学習の手助けをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号、方位・縮尺・土地利用・土地の高さの見方、索引の使い方、目的に合わせた見方について、イラストを使ってたりワークシート形式を用いたりして説明してある。また、キャラクターが随所に登場し、学習の手助けをしている。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出し等で、具体的な観察・調査方法や調べる観点の視点が掲載されている。 ・地図を活用した表現の例として、自然災害のページに自分の地域のハザードマップで確認する点について掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しで具体的な観察・調査方法が掲載されていたり、「地図マスターへの道」で資料活用の仕方が示されたりしている。 ・地図を活用した表現の例として、防災のページに防災マップの作品例とマップづくりの手順が掲載されており、学習活動の参考にしやすい。

種目名〔理科〕 総合的な所見一覧

	大日本	学園	教出	信教	学林道
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> 単元導入で写真資料やイラストを示し、児童の思いから主体的な学びをスタートさせること目指して構成している。 「理科の広場」で、学習内容が実生活・実社会と関連付けられている内容を掲載している。 単元末に「たしかめよう」を設け、学習内容をふり返り、知識・技能の定着を図るようになっている。また、どこかをふり返ればよいかが分かるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元導入で呼びかけの形や問いかけの形で問題を提示している。また、写真を使用して提示している。 「しりょう」や「科学のまど」において、学習内容が実生活・実社会と関連付けられている内容を掲載している。 単元末に「たしかめよう」を設け、知識・技能の定着を図るようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入で、吹き出しによる問いかけの形で問題を提示している。 「しりょう」や「科学のまど」において、学習内容が実生活・実社会と関連付けられている内容を掲載している。 単元末に「たしかめよう」を設け、知識・技能の定着を図るようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書見本がないため、分らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元導入で呼びかけの形で学習のめあてを提示している。また、「考えてみよう」という項目で、生活の中での事象を想起させ、単元のねらいにつなげている。 「理科の広場」や「つなげよう」において、学習内容が実生活・実社会と関連付けられている内容を掲載している。 単元末の「まどめノート」を設けて、学習内容を振り返ることが出来るようにしている。また、理科用語のチェックができるようにしている。
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとポイントをタイトルや文章で示している。 計画を立てるとき、吹き出しの会話形式で、変える条件と変えない条件を考えることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程がタイトルや文章で矢印で示している。 「関係づけ」で考える場面は、フローチャート形式で、矢印に沿って考えを進めていくようにしている。考察する時等、吹き出しのヒントがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程がタイトルや文章で矢印で示している。 「予想しよう」「計画しよう」などにヒントになる吹き出しがあり、問いが進められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書見本がないため、分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程がタイトルや文章で矢印で示している。単元初めに学習のめあてを示すことで、見直しをもって問題解決に取り組めるようにしている。 問題解決の各学習過程の中に、吹き出しによる会話やポイントで大切なことが示されている。
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> A4判 4年、5年の単元で、増水に対する防災の取組の紹介、災害に対する日頃の取組や生命を守る行動を紹介している。 6年「電気の利用」の学習で、人感センサーを使ったプログラミング体験を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> A・B判 防災マークで関係する箇所を示したり、5年の巻末資料に「災害に備えようブック」を掲載したりしている。 6年「電気の利用」の学習で、明るさ・人感センサーを使ったプログラミング体験を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> A4変形 「資料」や単元末問題において、防災・減災に関する内容を扱っている。 6年「電気の利用」の学習で、ミニ信号機を使ったプログラミング体験を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書見本がないため、分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> A・B判 災害と関連した単元後の読み物や「つなげよう」で、防災・減災に関する内容を扱い、人と自然との関わりを考えさせている。 6年「電気の利用」の学習で、人感・明るさセンサーを使ったプログラミング体験を紹介している。 全学年で同じキャラクターが登場し、学習の進め方や活動のヒントを示すとともに「理科の良方・考え方」につながる着眼点を示している。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で同じキャラクターが登場し、「理科のミカタ」で「理科の良方・考え方」を働かせ問題を解決していく学習の進め方や活動のヒントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年ごとに設定されたキャラクターが、その単元で働かせる「理科の良方・考え方」とヒントやポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターが学習過程の各マークを示している。別のキャラクターが、ヒントやポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書見本がないため、分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学習過程において、話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。 巻末に「話し合いのしかた」として、「話すとき」「聞くとき」の留意点を豊富で示している。児童の主体的な説明や話し合いを促しやすい。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学習過程において、吹き出しをつなぐ形で児童の対話を示している箇所がある。 巻末の「発表のしかた」「話し合いのしかた」で、発表や話し合いの際の留意点を示している。具体的な説明や話し合いを促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入や各学習過程において、教師の問いかけに答える形で児童の対話を示している。 巻末に説明する際の留意点を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入や各学習過程において、教師の問いかけに答える形で児童の対話を示している。 巻末に説明する際の留意点を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書見本がないため、分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学習過程において、話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。 巻末に「話し合いのしかた」として、「話すとき」「聞くとき」の留意点を豊富で示している。具体的な説明や話し合いを促しやすい。

種目名〔生活〕 総合的な所見一覧

	東洋	大日本	韓国	中国	信教	北米	英連邦	日本
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の安全や災害発生時、防犯に関する留意点や行動のとり方、学校内の安全設備の紹介等が、写真やイラストで豊富に掲載されている。 約束や安全等の配慮事項が明確に記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に防犯や交通安全、防災等に関するページがあり、安全な行動のとり方等がイラストで示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に交通安全や避難訓練、学校内の安全設備等について、安全な行動のとり方が写真やイラストで示されている。 約束や安全等の配慮事項が明確に記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の交通安全や避難に関する留意点が巻末にイラストでまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実物が無いため、調査・研究できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全や避難の仕方等に関する留意点が巻末にイラストでまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の安全、防災、防犯等に関する安全な行動のとり方がイラストでまとめられている。 衛生面での配慮事項は、全ての活動に記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の安全や防犯、防災に関する留意点、学校内の安全設備等について写真やイラストで掲載されている。 健康面での配慮事項も記載されている。
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 上巻に「かあどのかきかた」の特設ページがあり、観察の仕方や気づきのポイント等、大事なことが記載されている。また、蛇腹折りの本で、アサガオの成長の過程を振り返る工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「あさがおにつき」と題したワークシートが示されているが、例示は少なめである。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思い出ししてみよう」のページで、ワークシートをアサガオと自分の成長写真と並べて示し、アサガオの成長の過程を振り返る工夫がある。 ワークシートの例示が豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の言葉で副題を書くワークシートが示されており、児童が感じたことを表現するときの参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 実物が無いため、調査・研究できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の言葉で副題を書くワークシートが豊富に示されており、児童が感じたことを表現するときの参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 下巻のワークシートには多様な観察方法を意識させる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はっけんかあど」と題したワークシートが示されているが、例示は少なめである。
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 スタートカリキュラムの内容が充実しており、幼児期の学びと各教科のつながりや学校生活の様子が視覚的に示される等の工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 スタートカリキュラムでは、幼児期の学びと学校生活、各教科のつながりが視覚的に示される等の工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実物が無いため、調査・研究できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 スタートカリキュラムの内容が充実しており、幼児期の学びと各教科のつながりや学校生活の様子が視覚的に示される等の工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 スタートカリキュラムの内容が充実しており、幼児期の学びと各教科のつながりや学校生活の様子が視覚的に示される等の工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 スタートカリキュラムの内容が充実しており、幼児期の学びと各教科のつながりや学校生活の様子が視覚的に示される等の工夫がある。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項が示されている。また、原図に、他教科との関連も意識させやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全上の留意事項が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項が示されている。活動ごとに学習過程が「見える化」され、単元全体の見通しをもたせやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実物が無いため、調査・研究できない。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項が示されている。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの単元で、考えや調べたことを伝え合う場面が設定されており、まとめ方の種類や具体例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えや調べたことを伝え合う活動は、まとめ方の種類や具体例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えや調べたことを伝え合う活動は、まとめ方の種類や具体例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えや調べたことを伝え合う活動は、まとめ方の種類や具体例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実物が無いため、調査・研究できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えや調べたことを伝え合う活動は、まとめ方の種類や具体例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えや調べたことを伝え合う活動は、まとめ方の種類や具体例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えや調べたことを伝え合う活動は、まとめ方の種類や具体例が示されている。

種目名〔音楽〕 総合的な所見一覧

教出		第三
観点 1 基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名は、短い言葉でまとめ表記されている。(見開き左上に横書きで記載) ・発声のポイントについては、「歌声」等のコーナーが、第3学年、第4学年、第5学年に設けられている。その他、「スキルアップ」のコーナーで歌う時のポイント等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名は、活動で表記されている。(見開き左側に縦書きで記載) ・発声のポイントについては、「うたごえ」のコーナーを全学年に設け、段階を追って、分かりやすく掲載されている。
観点 2 主体的に学習に取り組み工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽づくりの学習では、音遊びや簡単な旋律づくり等の活動が、基礎的な表現の習得した上での発展的な音楽づくりにながらうように配慮されており、高学年では、基礎的な表現を習得した上での発展的な音楽づくりに取り組み構成になっている。 ・我が国や世界の多様な音楽を楽しむことができるような教材を設定することにより、児童が音楽と生活との関わりに関心を持たせるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽づくりの学習では、系統的な指導を積み上げる構成になっており、学習の手順が分かりやすく示されている。 ・我が国の伝統的な音楽文化との触れ合いを促す工夫や、身の回りの音や音楽に対する意識を高めることができるような工夫がされている。
観点 3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教材や季節に合わせて取り扱う歌曲は、「にっぽんのうた みんなのうた」として掲載されている。 ・和楽器は第2学年で「たいこ」を取り上げているが、第3学年では扱いはなく、第4学年で「こと」「大だいこ」「しめだいこ」等、第5学年で「しの笛」「こきりこ」等、第6学年で「尺八」「三味線」「雅楽の楽器」等を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教材は、「こころのうた」とし、季節や自然にまつわる歌は、「歌いつごう日本の歌」として掲載されている。 ・和楽器は第3学年で「尺八だいこ」「しめだいこ」「しのぶえ」等を、第4学年「こきりこ」「こと」「びんざざら」等、第5学年で「こと」「尺八」等、第6学年で「小鼓」「大鼓」「太神三味線」等を取り上げている。
観点 4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き右ページ上に音楽を形づくっている要素が「音楽のもと」として示されており、中学年・高学年には、メモ欄に児童が気付いた要素を書き込んで学習を深めることができるような工夫がされている。また、巻末の『音楽のもと』まとめ」が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き右ページ下に音楽を形づくっている要素が示されている。また、巻末の「ふり返りのページ」に、その学年で学習した内容や、音楽を形づくっている要素についてまとめ、関連するページが掲載されている。
観点 5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「まなびナビ」のマークで「意見交換しよう」「話し合おう」「伝え合おう」など学び方を提示し、対話的な行動を促す呼びかけが多い。感じ取ったことを実際に演奏して表現を高めていく場面や視点をもちって再度音楽を聴き味わう場面の設定がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターを登場させ、キャラクターの吹き出しにキャラクターの思いや意図を具体的な言葉で表記することで、児童が思いや意図をもつて学習するための参考になりやすい。気付きと関連させながら実際に演奏して、表現を高めていく場面や視点をもちって再度音楽を聴き味わう場面の設定があり、音楽科の特質に応じた言語活動につなげやすい。

種目名〔図画工作〕 総合的な所見一覧

開隆堂		E&E		
<p>観点 1 基礎・基本の定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の3点についてマークと文で示され、単元における重点内容については、下線や色を付ける等の工夫がある。 ・題材ごとに使用する用具や材料については、所定の位置にマークと用具名や材料名が記されており、分かりやすくなっている。 ・関連する資料への誘導もされている。「安全面」や「かたづけ」は強調され、活動については写真やイラスト・文で示されていて分かりやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の3点についてマークと文で示されている。「学びに向かう力、人間性等」については、例示がされている。 ・題材ごとに使用する用具については、所定の位置にマークで示されているが、用具名や材料名の記述がない。 ・関連する資料への誘導もされている。「安全面」や「かたづけ」は強調され、活動については文で示されているが、写真やイラスト資料は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の関連においては、児童作品の鑑賞は示されているが、作家などの作品紹介はされていない。 ・鑑賞の対象については、作品を比較する活動を通して、違いに気付かせる工夫がある。我が国の伝統工芸について紹介されているため、伝統や文化に親しむ機会となる。 	
<p>観点 2 主体的に学習に取り組む工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の関連においては、児童作品の鑑賞に加え、作家の美術作品が紹介されており、鑑賞の発展的な扱いがされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の関連においては、児童作品の鑑賞は示されているが、作家などの作品紹介はされていない。 ・生活との関連においては、視覚的な図で表された記号が紹介されている。絵画鑑賞においては、比較する活動を通して表現の違いや良さに気付かせる工夫がある。我が国の伝統にふれる作品が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年において題材を5項目に分類し、教材がバランス良く配列されている。項目の特徴としては、「立体」や「鑑賞」が多い傾向にある。 	
<p>観点 3 内容の構成・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年において題材を5項目に分類し、教材がバランス良く配列されている。項目の特徴としては、「絵」や「工作」が多い傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年において題材を5項目に分類し、教材がバランス良く配列されている。項目の特徴としては、「立体」や「鑑賞」が多い傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年において題材を5項目に分類し、教材がバランス良く配列されている。項目の特徴としては、「立体」や「鑑賞」が多い傾向にある。 	
<p>観点 4 内容の表頭・表記</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や造形活動について、発想・構想に関するヒントが吹き出し等で示されている。また、作者の考えや感想を紹介している。 ・造形活動の示し方については、イラストや文を用いて分かりやすく表記されている。作品は材料の種類が多いため、カラフルな傾向がある。 ・他教科等との関連を示している記述がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や造形活動について、発想・構想に関するヒントが吹き出し等で示されている。また、作者の考えや感想を紹介している。 ・造形活動の示し方については、イラストや文を用いて分かりやすく表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や造形活動について、発想・構想に関するヒントが吹き出し等で示されている。また、作者の考えや感想を紹介している。 ・造形活動の示し方については、イラストや文を用いて分かりやすく表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や造形活動について、発想・構想に関するヒントが吹き出し等で示されている。また、作者の考えや感想を紹介している。 ・造形活動の示し方については、イラストや文を用いて分かりやすく表記されている。
<p>観点 5 言語活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の関わり合う写真と共に吹き出し等で対話例が示され、対話を促す工夫がある。 ・作品の発表文は、作品紹介に併せて表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の関わり合う写真と共に吹き出し等で対話例が示され、対話を促す工夫がある。 ・作品の発表文は、作品紹介に併せて表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の関わり合う写真と共に吹き出し等で対話例が示され、対話を促す工夫がある。 ・作品の発表文は、作品紹介に併せて表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の関わり合う写真と共に吹き出し等で対話例が示され、対話を促す工夫がある。 ・作品の発表文は、作品紹介に併せて表記されている。

種目名〔家庭〕 総合的な所見一覧

	事項	内容
<p>観点1 基礎・基本の定着</p>	<p>・問題解決的な学習が展開できるように、小題材はすべて3ステップで構成しており、一連の流れに沿って学習を進めるよう工夫されている。</p>	<p>・家庭科の学習が始まる第5学年は、スモールステップで学習できるよう題材が細かく構成され、学習の定着を図るよう工夫されている。</p>
<p>観点2 主体的に学習に取り組む工夫</p>	<p>・学習指導要領に新設の「(4)生活の課題と実践」に対応したページとして、いくつかの題材の学習後、学習したことを生かした実践例が記載され、定期的に実践につなげる工夫がされている。</p>	<p>・学習指導要領に新設の「(4)生活の課題と実践」に対応したページとして、第5学年と第6学年の間の教ページに記載され、第5学年の学習後に実践につなげる工夫がされている。</p> <p>・学習内容を生活に結び付ける活動例が示され、さらに、学習したことを生活でどのように生かしたのかか記述する欄も設けてあり、学習した内容を生活に生かすための工夫がされている。</p>
<p>観点3 内容の構成・配列・分量</p>	<p>・単学年ごとに題材が配列されている。</p> <p>・「関連マーク」を用いて、各教科等との関連が示されている。また、中学校の技術・家庭科(家庭分野)との関連も記載され、中学校との関連を意識させる工夫がある。</p>	<p>・学習の時期や季節を考慮して題材構成されており、2学年にわたって段階的に対比しながら学習を進める工夫がある。</p> <p>・「関連マーク」を用いて、各教科等の関連がほとんどの題材に示されている。また、多くの教科との関連を意識させる工夫がある。</p>
<p>観点4 内容の表現・表記</p>	<p>・図・イラスト・写真等は、学習内容と関連した適切な内容のものが適量掲載されている。</p> <p>・全体的に、落着いた色調の図・イラスト・写真等が使われている。</p>	<p>・図・イラスト・写真等は、学習内容と関連した適切な内容が掲載されており、それらを基に考察するなど参考にしやすい。</p> <p>・全体的に、明るくはつきりとした色調の図・イラスト・写真等が使われており着目させやすい工夫がある。</p>
<p>観点5 言語活動の充実</p>	<p>・「調べよう」「話し合おう」「深めよう」のコーナーが設けられており、活動の後に生活の中でどのようなことに生かしたいかが話し合えるようになっている。</p>	<p>・活動の前に「考えよう」「話し合おう」のコーナーが設けられており、問いかげの文が示され、安全面や必要性について自ら考えられるようになっている。</p>

種目名〔保健〕 総合的な所見一覧

	東工	大日本	文藝社	光文	学研
観点1 基礎・基本の定着	<p>・けがの手当てについて、手当ての方法を図と文で順序立てて説明している。自分でできる正しい手当ての方法を調べさせることで理解を深める工夫がある。</p>	<p>・けがの手当てについて、手当ての方法を図と文で説明している。</p>	<p>・けがの手当てについて、手当ての方法を図と文で説明している。</p>	<p>・けがの手当てについて、手当ての方法を図と文で説明している。</p>	<p>・けがの手当てについて、手当ての方法を図と文で説明している。</p>
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<p>・単元の見通しをもたせるための記述・写真が掲載されている。 ・振り返りでは、学習内容ごとに3段階でチェックする箇所と自由記述欄がある。欄に関連ページが記載されており、自分で学習したことを振り返って購べることができ、学習内容と関連させやすい。</p>	<p>・単元の見通しをもたせるための記述・写真が掲載されている。 ・振り返りでは、学習内容ごとに3段階でチェックする箇所と自由記述欄がある。</p>	<p>・単元の見通しをもたせるための記述・写真が掲載されている。 ・振り返りでは、○○宣言という形の自由記述欄がある。</p>	<p>・単元の見通しをもたせるための記述・イラストが掲載されている。 ・振り返りでは、学習ごとのキーワードを選択し、学習に進んで取り組んだから段階でチェックする箇所と、自分の生活に生かしたいことを選択し、理由を記述する欄がある。</p>	<p>・単元の見通しをもたせるための記述・写真が掲載されている。 ・振り返りでは、学習内容を3段階でチェックする箇所と「学びを深める」「明日につなげる」に分けて自由記述をする欄がある。</p>
観点3 内容の構成・配列・分量	<p>・発展的な学習として、「かん」「自然災害」「熱中症」「インターネット被害」について記載されている。</p>	<p>・発展的な学習として、「かん」「自然災害」「熱中症」「インターネット被害」について記載されている。 ・中学年と高学年では、発展的な学習の事例数の差が大きい。</p>	<p>・発展的な学習として、「自然災害」「熱中症」「インターネット被害」について記載されている。 ・中学年と高学年では、発展的な学習の事例数の差が大きい。</p>	<p>・発展的な学習として、「かん」「自然災害」「熱中症」「インターネット被害」について記載されている。 ・中学年と高学年では、発展的な学習の事例数の差が大きい。</p>	<p>・発展的な学習として、「かん」「自然災害」「熱中症」「インターネット被害」について記載されている。</p>
観点4 内容の表現・表記	<p>・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等について、成長に気付くための小さい頃の手形や靴の写真が原寸大である等、実感を伴って学習を進める工夫がある。</p>	<p>・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の記載が少ない。</p>	<p>・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の記載がある。</p>	<p>・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の記載が多く、理解にたなげやすい。</p>	<p>・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の記載がある。</p>
観点5 言語活動の充実	<p>・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は76である。</p>	<p>・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は32である。</p>	<p>・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は30である。</p>	<p>・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は45である。</p>	<p>・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は29である。</p>

種目名〔英語〕 総合的な所見一覧

	東 京	開 校 校	学 校	三 省 堂	教 出	指 針	登 林 道	
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に各単元の学習目標が簡潔で具体的に提示されている。 表記の仕方や活動の流れが統一されており、既習事項と比較しやすく、系統的に学習できる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に各単元の学習目標が提示されている。 様々な学習活動の中に学習する表現が使われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に各単元の学習目標が3つの観点で提示されている。 単元末に設定された読み物教材の中に、学習した表現が使われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に各単元の学習目標が提示されている。 学習する表現を使った単元が連続して配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に各単元の学習目標と4段階に分けた目標が提示されており、児童が理解しやすい。 児童が学習した表現を使い、たたくような自然な場面設定がされ、無理なく繰り返し学習するための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元名や学習のめあてと単元名や学習の内容に関連する写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を2観点で振り返り、短時間で評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてとともに、学習内容に関連する写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を3観点で振り返り、短時間で評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてとともに、学習内容に関連する写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を3観点で振り返り、短時間で評価ができる。
観点2 主体的に学習に取り組み む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてとともに、学習内容に関連する写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を2観点で振り返り、短時間で評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてとともに、学習内容に関連する写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を3観点や2観点で振り返り、短時間で評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてとともに、学習内容に関連する写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を4観点で振り返り、短時間で評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてとともに、ゴールの姿がイメージしやすい写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を3観点や2観点で振り返り、短時間で評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてとともに、学習内容に関連する写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を3観点で振り返り、短時間で評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてとともに、学習内容に関連する写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を3観点で振り返り、短時間で評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてとともに、学習内容に関連する写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を3観点で振り返り、短時間で評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてとともに、学習内容に関連する写真やイラストが掲載されている。 単元の学習を3観点で振り返り、短時間で評価ができる。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 見開きの各ページに聞く、話す、読む、書く活動が豊富に配列されている。 習得した知識・技能の活用を促す言語活動が、単元末といくつかの単元終了後（年間3回）に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く、話す、読む、書く活動が配列されている。 習得した知識・技能の活用を促す言語活動が、単元末といくつかの単元終了後（年間2回）に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く、話す、読む、書く活動が配列されている。 習得した知識・技能の活用を促す言語活動が、いくつかの単元終了後（年間3回）に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く、話す、読む、書く活動が配列されている。 習得した知識・技能の活用を促す言語活動が、いくつかの単元終了後（年間3回）に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く、話す、読む、書く活動が配列されている。 習得した知識・技能の活用を促す言語活動が、いくつかの単元終了後（年間3回）に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く、話す、読む、書く活動が配列されている。 習得した知識・技能の活用を促す言語活動が、いくつかの単元終了後（年間3回）に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く、話す、読む、書く活動が配列されている。 習得した知識・技能の活用を促す言語活動が、いくつかの単元終了後（年間3回）に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く、話す、読む、書く活動が配列されている。 習得した知識・技能の活用を促す言語活動が、いくつかの単元終了後（年間3回）に設定されている。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 活動の種類を示すマークやキャラクターが目見分かれて掲載されている。 巻末に単語や学んだことリストが掲載され、簡単に準備できる単語カードやカード類が添付されている。4 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に単語や学んだことリストが掲載され、単語カードが添付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に単語や学んだことリストが掲載され、単語カードが添付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に単語や学んだことリストが掲載され、単語カードが添付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に単語や学んだことリストが掲載され、単語カードが添付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に単語や学んだことリストが掲載され、単語カードが添付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に単語や学んだことリストが掲載され、単語カードが添付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に単語や学んだことリストが掲載され、単語カードが添付されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童の生活に密着した場面が設定されており、言語活動の充実に向けた効果的な配列がされている。 いくつかの単元の学習内容を効果的に活用して、自分の考えや気持ちなどを伝える工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の生活に密着した場面が設定されている。 自分の考えや気持ちを伝える工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の生活に密着した場面の充実に向けた配列がされている。 いくつかの単元の学習内容を効果的に活用して、自分の考えや気持ちを伝える工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の生活に密着した場面が設定されており、言語活動の充実に向けた配列がされている。 いくつかの単元の学習内容を効果的に活用して、自分の考えや気持ちを伝える工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の生活に密着した場面が設定されている。 自分の考えや気持ちを伝える工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の生活に密着した場面が設定されている。 自分の考えや気持ちを伝える工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の生活に密着した場面が設定されている。 自分の考えや気持ちを伝える工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の生活に密着した場面が設定されている。 自分の考えや気持ちを伝える工夫がされている。

	学習	学図	教出	光打	白文	光文	字研	展あかつき
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れや学習活動とともに、ストーリーを基に話し合い活動が体験でき、活用しやすい。 第1・2学年は主題に関わる発問、第3学年以上は中心発問と自己を見つめる発問に精選されているので、多様な学習展開が仕組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、学習活動が示されている。 発問が、数多く示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、学習活動が示されている。 発問が、数多く示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、学習活動が示されている。 発問が、数多く示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、学習活動が示されている。 発問が、数多く示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、学習活動が示されている。 発問が、数多く示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、学習活動が示されている。 発問が、数多く示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動が示されている。 発問が、数多く示されている。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができる教材は、マークを付けて示し、「考えるステップ」が掲載されているため、扱いやすい。 体験的な学習ができる教材は、「やってみよう」のマークで示され、各学年2教材掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるような発問が設定されている。 体験的な学習ができる教材は、「スキル」及び「やってみよう」のマークで示されているが、教材数が10以上ある学年があり、やや多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるような発問が設定されている。 体験的な学習ができる教材は、「えんじて考えよう」のマークで示され、各学年1教材掲載し、演技や写真が掲載され、役割を取り入れられやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるような発問が設定されている。 体験的な学習ができる教材は、「えんじて考えよう」のマークで示され、各学年1教材掲載し、演技や写真が掲載され、役割を取り入れられやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるような発問が設定されている。 体験的な学習ができる教材は、「えんじて考えよう」のマークで示され、各学年1教材掲載し、演技や写真が掲載され、役割を取り入れられやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるような発問が設定されている。 体験的な学習ができる教材は、「えんじて考えよう」のマークで示され、各学年1教材掲載し、演技や写真が掲載され、役割を取り入れられやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるような発問が設定されている。 体験的な学習ができる教材は、「えんじて考えよう」のマークで示され、各学年1教材掲載し、演技や写真が掲載され、役割を取り入れられやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるような発問が設定されている。 体験的な学習ができる教材は、「えんじて考えよう」のマークで示され、各学年1教材掲載し、演技や写真が掲載され、役割を取り入れられやすい。
観点3 内容の構 成・配列・ 分量	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA・B型、別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、「ともにいきま」マークを使い、掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA・B型、別冊が小さく、使いにくい。 いじめ問題を扱う教材は「ともにいきま」マークを使い、掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はB5変型、別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、複数教材をユニットとして構成し、効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はB5変型、別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、複数教材をユニットとして構成し、効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA・B型、別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、「いじめ問題を扱う教材」は、複数教材をユニットとして構成し、効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA・B型、別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、「いじめ問題を扱う教材」は、複数教材をユニットとして構成し、効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA・B型、別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、「いじめ問題を扱う教材」は、複数教材をユニットとして構成し、効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA・B型、別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、「いじめ問題を扱う教材」は、複数教材をユニットとして構成し、効果的である。
観点4 内容の表 現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、教材が目次で示され、巻末には、全学年において、ふるさとコラムが掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置され、シンプルで分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、教材が目次で示され、巻末には、全学年において、ふるさとコラムが掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、教材が目次で示され、巻末には、全学年において、より良い関係づくりの付録等が掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、教材が目次で示され、巻末には、全学年において、より良い関係づくりの付録等が掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、教材が目次で示され、巻末には、全学年において、「明日を見つめよう」というメッセージが掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、教材が目次で示され、巻末には、全学年において、「明日を見つめよう」というメッセージが掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、教材が目次で示され、巻末には、全学年において、「明日を見つめよう」というメッセージが掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、教材が目次で示され、巻末には、全学年において、「明日を見つめよう」というメッセージが掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 1時間ごとの自己評価欄や学期ごとの学習のまとめ欄があり、活用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 別冊に上手な話し方・聞き方の具体例をイラストで示され、話し合い活動の参考にしやすい。 1時間ごとの自己評価欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、話し合いのポイントが示されている。 1年間の学習のまとめ欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、話し合いのポイントが示されている。 1年間の学習のまとめ欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、話し合いのポイントが示されている。 1時間ごとの自己評価欄や学習のまとめ欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、話し合いのポイントが示されている。 1時間ごとの自己評価欄や学習のまとめ欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、話し合いのポイントが示されている。 1時間ごとの自己評価欄や学習のまとめ欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、話し合いのポイントが示されている。 1時間ごとの自己評価欄や学習のまとめ欄がある。